地域課題を起点とした地域福祉の拠点づくり

GOOOOOOOD STATION

社会福祉法人ながよ光彩会

地域共生社会に関する取組

高齢者 / 子ども / 若者 / 地域住民 / 障害者 / 生活困窮者 / 認知症の方 / その他

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	39,479人
	高齢化率（R7.1月時点）	29.5%
	要介護認定率（R7.1月時点）	16.3%
	取組の予算規模（年間）	約200万

詳細はHPから

ながよ光彩会
https://linktr.ee/torus
adamatsu

取組概要

- 無人化駅の運営課題に対して、 社会福祉法人が駅構内にカフェ・ショップ機能も持つ「GOOOOOOOD STATION（グッドステーション）」を開設し、簡易委託というかたちで駅における乗降介助・改集札・案内・清掃の業務を請け負うとともに、駅構内に開設したコミュニティホールの運営を行うなど、高齢者や障害者を含む全ての人が安心して駅を利用できるような取組を実施している。

背景・きっかけ

- JR長与駅の駅員不在の時間帯（午前７時～正午まで駅員在中）に無人駅となることで、車いす使用者等のからだが不自由な方の乗降介助や時間帯によって変わる乗車ホームの案内など、駅利用者の困りごとへの対応が課題となっていた。
- 駅員が不在の時間帯になると案内用の電光掲示板が消え、どちらのホームから乗車すればよいか分からなくなることや駅員不在の不便さを嘆く「まちのこえ」が徐々に聞こえるようになってきた。

取組の経緯

- 障害をお持ちの方（車いすや目の不自由な方等）の乗降介助や駅構内の清掃、改集札業務について当法人が担うことで、福祉のノウハウを生かしながら駅利用者の困りごとの解決に取り組むこととなった。
- 駅構内にＧＯＯＯＯＯＯＯＯＤ ＳＴＡＴＩＯＮ（グッドステーション）を創設し、地域のにぎわいを創出する取組も実施している。





GOOOOOOOD STATIONの様子
（出典：令和７年度内閣総理大臣 表彰資料より）

GOOOOOOOD STATION
社会福祉法人ながよ光彩会

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 一部時間帯で無人駅となる「長与駅」において、JR九州から委託を受け、身体が不自由な方の乗降介助や時間帯によって変わる乗車ホームの案内等といった駅利用者の困りごとへの対応を行う。
  - ✓ 加えて、駅利用者などが福祉に出会いに来てもらえる環境として長与駅にカフェ・ショップの機能を持つGOOOOOOOD STATION を開設。
  - ✓ 長与駅には、JR九州の観光列車「ふたつ星４０４７」が停車（金・土・日・月の毎週４日間）するようになり、インバウンドの乗車客へのおもてなし対応も行っている。
- **実施体制**
  - ✓ 実施主体：社会福祉法人ながよ光彩会
  - ✓ 連携先：長与町（長与駅コミュニティホールおよび駅舎の管理清掃をながよ光彩会に業務委託）
    JR九州（12:00～19:00の駅員業務（集改札・案内業務、清掃業務、乗降介助業務）をながよ光彩会に業務委託）
- **財源**
  - ✓ GOOOOOOOD STATIONについては自主財源
  - ✓ ユニバーサルアクションプログラムは国土交通省の財源を活用

成果

- 長与駅コミュニティホールにて展示イベント、音楽イベントの開催が大幅に増加。2022年は11件、42日、稼働率12% 2023年は25件、119日、稼働率33% 2024年は24件、127日、稼働率35%。

今後の展望

- JR道ノ尾駅の管理運営も当法人が委託を受ける予定。

取組のポイント

- **地域課題を入口に福祉の輪を広げるための様々な取組を実施**
- 地域の様々な場所に生じる課題やニーズ等を、福祉の心を広げるための チャンスとして捉え、街の様々な場所や生活している人々に「福祉」の精神が伝わるような取組を行っている。
- 例えば、地域住民や一般企業等の様々な属性の参加者を対象に、無人駅における利用者・住民同士の助け合いを促進することを目的とした、座学とロールプレイングによる「心のバリアフリー」を学ぶ実践的な研修プログラム（「ユニバーサルアクションプログラム」）も実施している。